

## 校長先生のお話 No.9

～ココロがほっこりする本～

イライラするときってあるよね。そんな時にどうしていますか？

「ものや人に当たる」 だめですよ。まわりまわって結局何倍もの嫌なことが自分に返ってきます。

「おいしいものを食べたり、好きなことをしたりして忘れる」 いいですね。心の切りかえのテクニックが身についています。こういうことは、これからつらいことにいっぱい出会うかもしれないみなさんにとって、自分を守るための大切なテクニックです。

私はそんな時には、好きな本を読むようにしています。最初は頭の中がイライラでいっぱい、本の内容はひとつも入ってきませんが、読んでいるうちに、頭の中のイライラが一つずつ出ていき、本のワクワクが一つずつ入れかわって頭の中に入ってきます。

今回はそんなときのために、アタマとココロがほっこりする本を2さつしようかします。

### 1さつ目 「おじいちゃんがおばけになったわけ」

大すきなじいじ（おじいちゃん）が死んでしまったエリック。かなしくて泣いてばかりいました。でもある日、その大すきなじいじが部屋にやってきたのです。おばけになって。

どうやらじいじは、この世に忘れ物があったのです。でも、それが何なのか、じいじは思い出せません。

その夜からずっと、エリックとじいじの「忘れ物さがし」が始まります。

じいじが生まれてから死ぬまでのことをいっしょにたどっていくうちに、エリックはじいじの知らなかったことをたくさん知るようになっていきます。そしてそのたびに、じいじのことがまた一つ好きになっていくのです。

じいじの忘れ物さがしも、じいじが死んでしまう直前まで来たとき、じいじはやっと忘れ物を思い出します。そしてそれが何だったのか、エリックに話し始めました。

とてもココロがほっこりする物語です。イライラがないときでも、学校のどこかにありますので、ぜひ読んでください。

### 2さつ目 「また おこられてん」

「なあ とうちゃん、ぼくな また かあちゃんにおこられてん。

かあちゃん、『もう あなたのおかあさん やめさせてもらいますっ！』  
っていうとった。ほんまやろか。」

ぼくにはぼくの言い分がある。ぼくにはぼくのやり方がある。でもそれをするとお母ちゃんにいつもおこられる。

1日1回は必ずお母さんからおこられる あなた。ぜひ読んでみてください。

ぼくの気持ちもわかる。お母さんの気持ちもわかる。そしてココロはほっこり。

お母さんが借りて読んでもいいかも。